

参考文献

- 愛知県企業局：水産資源保護協会(2005)：臨海用地造成事業調査業務委託（JW1H12-1）
報告書（1/2）
- 愛知県水産試験場(1951)：浅海貝類の分布並びに密度調査, 昭和 26 年度愛知県水産試験
場業務報告, pp49-56
- 愛知県水産試験場(1970)：伊勢湾・三河湾水底質調査報告（その 1）
- 愛知県農林水産統計(2000)
- 青山裕晃・石田基雄・木村仁美(2002)：海況自動観測ブイ 10 ヶ年観測結果(1991～2000
年)からみられる三河湾の赤潮と貧酸素. 愛知水試研報 9 号
- 青山裕晃・鈴木輝明(1997)：干潟上におけるマクロベントス群集による有機懸濁物除去
速度の現場測定, 水産海洋研究, 61, pp. 265-274
- 秋岡敬三(1984)：“特殊合併処理による生活素排水対策と六甲山系における譲処理につ
いて” 公害と対策, 臨時増刊, pp. 120-128
- 秋田県(1983)：昭和 58 年度環境庁委託業務報告書（非特定汚染源による汚染防止対策
調査）
- 渥美湾等流域別下水道整備総合計画(1973, 1997, 2004)
- 阿部徹・裴義光・並木嘉男(2005)：河川を軸とした土砂及び栄養塩類の動態に関する研
究, 河川環境総合研究所報告, No. 11 pp. 9-20
- 天野邦彦・時岡和利(2007)：ダム貯水池における珪藻類によるケイ酸捕捉量の評価, 環
境工学研究論文集, 第 44 巻
- 荒川上流六十年史(1979), 建設省荒川上流工事事務所
- 有賀祐勝(1990)：内湾河口域（多摩川河口域）の場合, 自然の浄化機構, 宗宮功編, 技報
堂出版（株）
- 石川県(1984)：昭和 58 年度環境庁委託業務報告書（非特定汚染源による汚染防止対策
調査）
- 石田基雄・鈴木輝明(2006)：浚渫窪地修復の考え方と修復事例, 海洋理工学会平成 18 年
度春季大会講演論文集, pp. 19-22
- 石田基雄・原保(1996)：伊勢・三河湾における水質変化と富栄養化について, 愛知県水
産試験場研究報告, No3 Page29-41
- 伊勢湾再生行動計画(2007), 伊勢湾再生推進会議
- 井戸津都史, 海幸丸乗組員(1976)：貝けた網漁業試験, 昭和 51 年愛知県水産試験場業務
報告, pp118-149
- 稲葉伝三郎(1934)：昭和 9 年冬期の富士五湖, 陸水学会誌
- 茨城県(1983)：霞ヶ浦流総現地調査結果資料
- 今井直・河村章人(2000)：的矢湾における主要流入河川の環境特性と湾内の栄養塩濃度

への影響 水産海洋研究

- 今村正裕(1997):湾奥部における水-底泥間の窒素・リンのフラックス 海岸工学論文集
- 巖佐耕三(1976):珪藻の生物学, 東京大学出版社
- 浮田・中西他(1987):“し尿・ごみ処理における窒素・りん汚濁負荷量”, 公害と対策, Vol. 20, No. 10
- 鵜寄直文(2002):三河湾における 1989 年から 2000 年にかけての苦潮発生状況. 愛知県水産試験場報告, 第 9 号, pp. 11-18
- 鵜崎直文・甲斐正信(2001):三河湾における苦潮発生時の海洋構造と硫化水素及び硫黄粒子の鉛直分布, 愛知県水産試験場研究報告, No. 8 pp. 7-13
- 宇野木早苗(2002):河川事業が沿岸環境へ与える影響を物理面から考える, 海の研究, Vol. 11, No. 6
- 社団法人 海と渚環境美化推進機構(1998):海の生態系と漁業に関する調査 報告書
- 運輸省第五港湾建設局三河港工事事務所(1987):昭和 61 年度三河湾物質循環機構調査報告書
- 英国オープン大学編(1998):海洋堆積学の基礎
- 大沼淳一(2001):三河湾における底泥からの栄養塩類溶出フラックス, 愛知県環境調査センター所報, No. 29, pp. 67-94
- 大矢雅彦(1993):河川地理学, 古今書院
- 岡田知也(2002):荒川河口域における Chl-a の鉛直分布, 海岸工学論文集
- 小田泰史他(1979):河川の底生動物相影響を与える水質と堆積物, 水質汚濁研究
- 汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領, (社)全国都市清掃会議
- 霞ヶ浦水負現況調査報告書(1973):建設省 関東地方整備局 霞ヶ浦工事事務所
- 財団法人河川環境管理財団(2006):河川整備基金自主研究事業河川汽水域の水環境と生物環境に関する研究
- 河川汽水域の水環境と生物環境に関する研究
- 神奈川県農林水産統計年報(2000)
- 蕪木佐依子(2004):瀬沼川流域における平水時河川水の懸濁物質による主要元素濃度, 水環境学会誌
- 蒲郡大塚地区環境協影響評価書(1994)
- 鎌谷明善(1973):海洋におけるケイ素の挙動と研究法
- 鎌谷明善(1982):海洋における生体元素;特に珪素の循環機能に関する研究, Lamer, Vol. 20, No. 3, pp190-192
- 鎌谷明善(1990):内湾における自然浄化機能, 自然の浄化機構, 宗宮功編, 技報堂出版
- 川崎港港湾計画資料(その 2)(2000)
- 川津充夫・林喬一郎・安田幸伸・石飛裕・神谷宏(1983):湖泥底からの栄養塩等の溶出

- について(第1報), 島根衛生公研所報, 第25号
- 川西正衛・平田貞郎・高場 稔・猪子嘉生(1975): ガザミの種苗放流・追跡 - I 初期行動について, 栽培漁業技術開発研究, 4(1), pp. 15-18
- 環境省(2004): 中央環境審議会水環境部会 総量規制専門委員会 第2回 資料3-2 (環境省 HP (<http://www.env.go.jp/>) より)
- 環境省自然環境局生物多様性センター:<http://www.biodic.go.jp/>
- 環境庁(1985): 窒素・磷指導指針調査報告書
- 衣浦港港湾計画資料(その2)(2001)
- 姜閔求, 高橋重雄, 奥平敦彦, 田豊和(2001): 自然・人工干潟の地形および地盤に関する現地調査ー前浜干潟の耐波安定性に関する検討ー, 港湾技研資料, No. 1010
- 楠田哲也(1990): 河川感潮域における自然浄化機能, 「自然浄化機構」(宗宮功編著), pp. 162, 166. 技報堂出版, 東京
- 楠木正康(1976): “既存浄化槽の機能改善に関する調査研究”, 用水と排水, Vol. 18, No. 10
- 国包章一(1978): 溜沼および貯水池における栄養塩負荷と富栄養化の関係に関する新しい評価手法 水質汚濁研究
- 栗原康(1988): 河口・沿岸域の生態学とエコテクノロジー, 東海大学出版会
- 黒田伸郎(2003): 内湾における森林・農地由来の環境影響物質の循環の解明, 森林・農地・水域を通ずる自然循環機能の高度な利用技術の開発 中間成績報告書(前期:平成12-14年度) 環境研究 平成15年, pp. 143-146
- 黒田伸郎・荒川純平・原田誠(2004): (5) 二枚貝栄養物質循環機能評価調査, 愛知県水産試験場業務報告, Vol. 2003 pp. 13-14
- 黒田伸郎・落合真哉・岩崎員郎(2001): 海面増養殖技術試験 (5) 二枚貝栄養物質循環機能評価調査, 愛知県水産試験場業務報告, Vol. 2000 pp. 18-20
- 黒田伸郎・藤田弘一(2006): 伊勢湾と三河湾の貧酸素水塊の短期変動及び長期変動の比較. 愛知県水産試験場報告, 第12号, pp. 5-12
- 桑江朝比呂・神尾光一郎・井上徹教・三好英一・内山雄介(2006): 堆積物による酸素消費と生成ー渦相関法を適用した新たな測定手法の開発ー, 海岸工学論文集, 第53巻, pp. 1411-1415
- Kemp W.M. (1989) 3 Estuarine Chemistry : ESTUARINE ECOLOGY(J. W. Day, Jr., C. A. S. Hall, W. M. Kemp, A. yanez-Arancibia eds.), pp. 84. John Wiley & Sons, Inc
- 鯉淵幸生(2000): 東京湾湾奥部における栄養塩の周年変動に関する現地観測, 海岸工学論文集, 47巻, pp. 1066-1070
- 厚生省生活衛生局水道環境部: “9. 生活排水処理システムの高度化に関する研究”
- (財)港湾空間高度化環境研究センター 港湾・海域環境研究所(2005): 平成16年度 三河湾覆砂等総合検討調査報告書

- 国土交通省河川局治水課(2001):国土技術政策総合研究所河川研究室,各地方整備局河川計画課:水系一貫砂管理に向けた河川における土砂観測,土砂動態マップの作成及びモニター体制構築に関する研究
- 国土交通省港湾局監修(2003):海の自然再生ワーキンググループ著:海の自然再生ハンドブック,第2巻,干潟偏
- 国土交通省中部地方建設局三河港湾工事事務所(2002):三河湾覆砂等環境調査業務報告書
- 国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所(2005):浚渫土砂を活用した三河湾の干潟・浅場造成効果の検証
- 児玉真史(2000):干潟底泥-海水間の栄養塩フラックスに関する現地調査 海岸工学論文集
- 児玉真史・小松幸夫(2007):ノリやアサリのための漁場環境,第3回伊勢・三河湾の環境と漁業を考える ―豊かな海と魅力ある漁業の再生を目指して― 講演要旨集,水産海洋学会・愛知県水産試験場・三重県科学技術振興センター水産研究所)
- 児玉真史・田中勝久・黒田伸郎・柳沢豊重・荒川純平・沢田知希・都築基・山本有司(2004):河川負荷 DSi/DIN 比の変動と海域の応答,日本海洋学会大会講演要旨集, Vol. 2004 秋季 pp. 198
- 小沼晋・五藤勇樹・中村由行(2002):成長モデルを用いた東京湾磐洲干潟での二枚貝による懸濁物除去量の推定,海岸工学論文集,第49巻
- 小林純(1960):日本の河川の平均水質とその特徴に関する研究,農学研究,第48巻,第2号, pp. 63-106
- 西條八束(2002):内湾の自然史,三河湾の再生を目指して,愛知大学総合研究所ブックレット
- 西條八束・奥田節夫編(1996):河川感潮域
- 西條八束・半田暢彦・坂本充・北森良之介・吉見吉夫:内湾の環境科学 下 三河湾・伊勢湾の研究を中心として, pp. 137
- 埼玉県(1984):昭和 58 年度環境庁委託業務報告書(非特定汚染源による汚染防止対策調査)
- 斉藤雄之助(1984):流量変動がのり生産に影響する機構の検討,のり生産と河川流量―その調査方法―,(社)日本水産資源保護境界水産研究叢書,斉藤雄之助・須藤俊造著
- 佐々木克之(1993):内湾および干潟における物質循環と生物生産【3】貧酸素水塊の形成機構,海洋と生物, Vol. 15, No. 3, pp. 170-177
- 佐々木克之(1994):内湾および干潟における物質循環と生物生産【10】三河湾一色干潟の窒素とリンの収支,海洋と生物, Vol. 16 No. 4 pp. 294-300
- 佐々木淳(2001):自動昇降式観測システムを用いた冬季の東京湾湾奥における基礎生産の推定海岸工学論文集

- 佐野稔・小久保友義・狭間弘学・上出貴士・吾妻行雄・谷口和也(2003):褐藻カジメの生育と光合成, 磯焼けの発生要因の解明と克服技術の開発に関する生態学的研究, 谷口和也編
- 左山幹雄(平野敏行監修):沿岸の環境圏, フジテクノシステム, pp. 104-107
- 沢田知希・都築基(2003):河川環境影響物質循環調査, 愛知県水産試験場業務報告, Vol. 2002 pp. 27-28
- 三戸勇吾・山田佳裕・多田邦尚・山本敏哉(2005):知多湾表層水中における高濃度の溶存有機態窒素について, 日本海洋学会大会講演要旨集, Vol. 2005 秋季 pp. 169
- し尿処理施設構造指針解説 1988年版(同)
- 芝野和夫・神田健一・中島泰弘(2003):22. 環境保全 矢作川流域における窒素・リン・ケイ素のモニタリング, 日本土壌肥料学会講演要旨集, Vol. 49 pp. 166
- 清水誠(1985):東京湾の環境変化と漁業資源の推移. 産業公害, Vol. 21, No. 9 pp. 733-745
- 城久(1991):大阪湾の開発と海域環境の変遷, 沿岸海洋研究ノート, 29, pp. 3-12
- 新目竜一・渡辺康玄(1999):鵜川における洪水時の物質輸送に関する現地調査, 開発土木研究所月報, Vol. 547
- 水産海洋学会, 愛知県, 三重県(2007)第3回 伊勢・三河湾の環境と漁業を考える一豊かな海と魅力ある漁業の再生を目指して, 講演要旨集, 水産海洋地域研究集会
- 水質調査の基礎知識(1995), 近畿地方整備局近畿技術事務所
- 水理公式集(1999), 土木学会
- 鈴木輝明(2003):三河湾における環境修復事業の現状と課題. 海と生物 146, vol. 25, No. 3, pp. 187-199
- 鈴木輝明(2005):三河湾における貧酸素化と環境修復事業の必要性, 浚渫土砂を活用した三河湾の干潟・浅場造成効果の検証, 中部地方整備局三河港湾事務所
- 鈴木輝明・青山裕晃・甲斐正信・今尾和正(1998):底層の貧酸素化が内湾浅海底生生物群集の変化に及ぼす影響, 海の研究, Vol. 7 No. 4 pp. 223-236
- 鈴木輝明・青山裕晃・中尾徹・今尾和正(2000):マクロベントスによる水産機能を指標として底質基準試案—三河湾浅海部における事例研究—, 水産海洋研究, 64(2), pp. 85-93
- 鈴木輝明・寺澤知彦(1997):富栄養化海域における貧酸素水塊の数値解析による再現と工学的改善効果の検討—伊勢・三河湾における事例研究—, J. Adv. Mar. Sci. Tech., Vol. 3., No. 1, pp. 81-102
- (社)全国都市清掃会議, 汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領
- (社)全国都市清掃会議(1988), し尿処理施設構造指針解説
- 宗林由樹(2005):海と湖の科学-微量元素で探る, 京都大学学術出版界
- 第6次水質総量規制のあり方について(答申)(2006), 平成17年5月, 中央環境審議会・化学的酸素要求量, 窒素含有量及びりん含有量に係る総量削減基本方針

- 滝元男(1981):紫外線吸光光度計法による用・排水中の硝酸態窒素の定量(その1),
水処理技術, 22, pp. 63-72
- 武岡英隆・菊地隆展・速見祐一・榊原哲郎(2002):瀬戸内海における外洋起源の栄養物
質, 月刊海洋 Vol. 34, No. 6
- 武田和也(2005):三河湾の漁場環境の推移. 愛知大学総合郷土研究紀要, 第 50
輯, pp. 231-238
- 武田和也・石田基雄(2006):三河湾における苦潮によるアサリ大量死と浚渫窪地内部の
貧酸素化の状況, 海洋理工学会平成 18 年度春季大会講演論文集, pp. 5-8
- 武田重信(1996):微量金属と植物プランクトン-その取り込みと利用-, 月刊海洋
- 橘治国(1993):懸濁物質の流出・流下と水環境への影響, 水環境学会誌, Vol. 16, No. 7
- 田中勝久(1993):沿岸海域底泥の形態別リン組成とリン循環におよぼす河川負荷懸濁
物の影響, 水産海洋研究
- 田中勝久・豊川雅哉・澤田知希・柳澤豊重・黒田伸郎(2003):土壌流出によるリン負荷
の沿岸域への影響, 沿岸海洋研究, Vol. 40, No. 2
- 田中庸央・大沼淳一(1992):三河湾の夏季におけるクロロフィル収支の推定, 水処理技
術, Vol. 33 No. 2 pp. 73-80
- 地球・人間環境フォーラム(1999):浅海域の水質浄化における植物類の寄与に関する調
査検討報告書
- 知多湾等流域別下水道整備総合計画(2000, 2004)
- ※知多湾等流域別下水道整備総合計画は昭和 51 年及び昭和 53 年に検討がおこなわれ
ているが大臣承認を受けていない。
- 千葉県土木部・千葉県企業庁(1999):市川二期地区・京葉港二期地区計画に係る補足調
査結果報告書 現況編 I (物質循環と浄化機能)
- 千葉県農林水産統計年報(2000)
- 中部国際空港株式会社, 愛知県(1999):中部国際空港建設事業及び空港島地域開発用地
埋立造成事業に関する環境影響評価書
- 辻本哲郎(2003):応用生態工学北陸現地ワークショップ in 富山プログラム
- 堤裕昭(2003):海域の底質中に含まれるマンガンが底生生物に及ぼす影響に関する調
査研究, 平成 15 年度熊本県立大学地域貢献研究事業
- 土の環境圏(1997), 株式会社富士テクノシステム
- 都留信也(1973):海洋科学, 微量元素の生化学
- 東海区水産研究所・南西海区水産研究所・水産大学校(1973):農林水産生態系における
汚染物質の循環と指標生物に関する研究 水域における汚染と物質循環機構 水生
生物環境の変化に伴う生物相の変動とその指標性 昭和 47 年度研究成績報告書
- 東京港港湾計画資料(その 2)(1997)
- 東京都農林水産統計年報(2000)

- 東京湾の環境(その3)東京湾の水産生物
東京湾の漁業と資源, 平成16年度資源評価調査委託事業報告書
東京湾流域別下水道整備総合計画(1980, 1995)
藤平蔵芳光:調査研究紹介 海域の富栄養化に関する研究, 富山県ホームページ
中田喜三郎(1993):生態系モデルー定式化と未知のパラメータの推定法ー, J. Adv. Mar. Tech. Conf. Vol. 8, 1993, pp99-138
中村充(1993):生態系を活用した海底質の改良技術, ヘドロ, N058(9), pp. 17-24
中村元彦(2005):伊勢・三河湾における漁業の推移, 愛知大学総合郷土研究所紀要, 第50輯, pp. 239-252
中村由行・野村宗広・神尾光一郎(2004):磐洲干潟周辺海域における底生生物系と浮遊系のカップリングに関する研究, 港湾空港技術研究所報告, 第43巻, 第2号
中山哲最(2003):有明海北西部で発生する貧酸素水塊に着目した現地調査 海岸工学論文集
和吾郎(2004):四万十川流域の栄養塩類, 海洋と生物, Vol. 26, No. 6
Nixon S.W. (1988):Physical energy inputs and the comparative ecology of lake and marine ecosystems. Limnol. Oceanogr., 33 (4) part2, pp.1005-1025
社団法人 日本水産資源保護協会(1994):漁場保全機能定量化事業報告書 ー第Ⅱ期と
りまとめー
(社)日本水環境学会編集(1999):行政
日本の水環境行政, (社)日本水環境学会編集
二羽恭介(2007)におけるノリの色落ちの現状と対策, 第3回伊勢・三河湾の環境と漁業を
考えるー豊かな海と魅力ある漁業の再生を目指してー講演要旨集, 水産海洋学会・愛
知県水産試験場・三重県科学技術振興センター水産研究所, pp. 14-15
沼田眞, 風呂田利夫編, 東京湾の生物誌, 1997
服部克也(2007):伊勢・三河湾におけるノリ養殖の現状と課題, 第3回伊勢・三河湾の
環境と漁業を考える ー豊かな海と魅力ある漁業の再生を目指してー 講演要旨集」,
水産海洋学会・愛知県水産試験場・三重県科学技術振興センター水産研究所)
原島省(2003):陸水域におけるシリカ欠損と海域生態系の変質, 水環境学会誌
Vol. 26, No. 10
原保・向井良吉・黒田伸郎(1995):三河湾における貧酸素水塊の経年変化について, 愛
知県水産試験場研究報告, No. 2 pp. 47-49
日比野雅俊(1984):内湾の環境科学 上「三河湾集水域における地域変化と汚濁負荷」
兵庫県(2007):環境白書ー平成18年度版ー
Hiwatari T., Kohata K., Iijima(2002): Nitrogen budget of the bivalve *Macra
veneriformis*, and its significance in benthic-pelagic systems in the Sanbase area of
Tokyo Bay, Estuarine, Coastal Shelf Sci., 55:299-308

- 福岡市港湾局(2005):エコパークゾーン香椎地区(御島)シーブルー事業効果把握調査報告書
- 藤田昌史(2003):東京湾における水質動態と低質微生物群衆構造の解析 海岸工学論文集
- 藤永太郎,宗林由樹,一色健司:海と湖の化学 ー微量元素で探る
- 船越茂雄(1981):IV 漁業生物. 東海区水産研究所業績C集 さかな, 26: pp.83-113.
- 碧南市地先における環境影響評価書(1986)
- 細川恭史・木部栄治・三好栄一・桑江朝比呂・古川恵太(1996):盤州干潟(小櫃川河口付近)におけるアサリによるろ水能力分布調査, 港湾技術研究所資料, No844
- 堀江毅・井上聰史・村上和男・細川恭史(1996):三河湾での覆砂による底質浄化の環境に及ぼす効果の現地実験, 土木学会論文集, No. 533/II-34
- 松江吉行(1957):水産学集成, 東大出版会
- 松永勝彦・五十嵐康二(1982):水生生物に対する重金属元素の意義と沿岸海域におけるそれらの挙動, 水産界要件休会第41号, 第13回北洋研究シンポジウム
- 松村 剛・堀本奈穂・許 耀霖・石丸 隆(2001):東京湾における栄養塩の動向(1989-1998年). La mer 39, pp. 19-32
- 丸茂隆三編(1974):海洋学講座第10巻「海洋プランクトン」, (財)東京大学出版会
- 三河港港湾計画資料(その2)(1995)
- 三河港御津1区環境影響評価書(1995)
- 宮地成子・八木明彦(1992):矢作川の水質特性, 名古屋女子大学紀要 家政・自然編, No. 38, pp. 129-136
- 村上眞裕美(2004):矢作川集水域の環境変化と水質変化について, 日本陸水学会甲信越支部会報, No. 30 pp. 52-53
- 森・川・海のつながりを重視した豊かな漁場海域環境創出方策検討調査報告書
- 八木宏・大森義暢・足立久美子・二平章(2002):那珂川河口海域における物質分布構造の季節変化 海岸工学論文集
- YAGI A・SUGIYAMA A (Nagoya Women's Univ.)(1985):Primary production in the downstream of the Yahagigawa River., 名古屋女子大学紀要, No. 31 pp. 87-94
- 柳 哲雄(2001):沿岸海域の富栄養化機構. 海洋政策研究財団ニューズレター第11号
- 山崎真一・森田真郷・山下俊彦(2003a):河川水中の懸濁粒子の海水混合による凝集・沈降特性 海岸工学論文
- 山崎真一・渡邊康玄・宮下将典・森田真郷(2002a):融雪期に鵜川から供給された物質の河口沿岸域環境への影響, 海岸工学論文集
- 山崎真一・渡邊康玄・宮下将典・森田真郷・山下俊彦(2002b):融雪期に鵜川から供給された物質の河口沿岸域環境への影響, 海岸工学論文集, VOL. 49 NO. 2
- 山崎真一・渡邊康玄・宮下将典・森田真郷・山下俊彦(2003b):融雪期に鵜川から供給

- された物質の河口沿岸域環境への影響, 海岸工学論文集, Vol. 47, No. 2
- 山下俊彦・梅林司・隅江純也・栢谷和久(2003):石狩湾沿岸海域の水質変動特性と河川水・外洋の影響 海岸工学論文集
- 山下俊彦・菅沼剛(2002):融雪期の石狩川下流部の水質変動・輸送特性, 河川技術論文集, 第8巻
- 山下俊彦・宮下将典・山崎真一・渡辺康玄(2001):河川から供給された物質の河口沿岸域での挙動, 海岸工学論文集, VOL. 47 NO. 2
- Yamamuro, M., Koike, I. (1993): Nitrogen metabolism of the filter-feeding bivalve *Corbicula japonica* and its significance in primary production at a brackish lake in Japan. *Limnology and Oceanography*, 38 (5), 997-1007
- 山本・中野・桐山(1986):“単独浄化槽の実態調査—現行構造基準による浄化槽(その1)” 月刊浄化槽
- 山本・中野・桐山・北角(1987):“単独浄化槽の実態調査—現行構造基準による浄化槽(その2)”, 月刊浄化槽, No. 134, pp. 16-22
- 山本晃一(2004):構造沖積河川学—その構造特性と動態—, pp. 580, (株)山海堂
- 山本俊夫(1976):海洋科学, 海洋生物の微量元素
- 山本民次(2003):川と海の境目—エスチュアリー—の生態系—, アクアネット, Vol. 25
- 山本民次・大中澄美子(1999):三河湾と志摩度会海域における赤潮発生の特徴 湾の形状と環境特性による検討, 生物生産学研究, Vol. 38 No. 1 pp. 47-57
- 山本民次・岡井満・竹下邦明・橋本俊也(1997):三河湾における赤潮多発年の気象の特徴, 水産海洋研究, Vol. 61 No. 2 pp. 114-122
- 山本民次・橋本俊也・辻けい子・松田治(2002):1991年~2000年の広島湾海水中における親生物元素の時空間的変動, 特に植物プランクトン能 C:N:P 比のレッドフィールド比からの乖離 沿岸海洋研
- 山本有司・都築基(2005):内水面増養殖技術試験(4)河川環境影響物質循環調査, 愛知県水産試験場業務報告, Vol. 2004 pp. 35-36
- 横山克英・宇野誠高(2003):河川の土砂動態が沿岸域に及ぼす影響について, 応用生態工学会第7回研究発表会講演集
- 芳村毅・工藤勲(2003):噴火湾における河川からの栄養塩負荷量およびそれらが湾内の基礎生産に与える影響, 海の研究, VOL. 12 NO. 12
- (財)理工学振興会(2006):平成17年度霞ヶ浦汚濁負荷流入特性検討業務報告書
- 流域別下水道整備総合計画調査指針と解説(1972, 1977, 1980, 1990, 1993, 1996, 1999)
- RevsVech N. P., Jo φ rgensen B. B. & Blackburn T. H. (1980): *Science*, 207, pp. 1355-1356
- 和波一夫・嶋津暢之(2002):都市河川の雨天時汚濁の実態, 水環境学会誌

本研究の基礎資料の作成に携わった関係者は以下のとおりである。

(財)河川環境管理財団	技術参与	佐藤 和明* (平成 18 年度)
		酒井 憲司 (平成 19 年度)
	研究第二部長	阿部 徹* (平成 18 年度)
		久保田 一 (平成 19 年度)
	研究第二部 次長	斐 義光* (平成 18 年度)
		圓谷 秀夫 (平成 19 年度)
	研究第二部 主任研究員	小島 富士夫* (平成 18～19 年度)
		並木 嘉男* (平成 18 年度)
		神岡 誠司 (平成 19 年度)

*当時